平成24年11月2日

各 位

上場会社名　第一商品株式会社
代表者　代表取締役社長 土肥　章
（コード番号　8746）
問合せ先責任者　総務本部長 岡田　義孝
（TEL　03-3462-8011）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年５月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,830	1,530	1,635	1,003	64.93
今回修正予想(B)	2,792	△613	△530	△369	△23.96
増減額(B-A)	△2,037	△2,143	△2,165	△1,372	
増減率(%)	△42.2	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年3月期第2四半期）	4,959	1,694	2,173	1,251	80.91

修正の理由

当社の主力商品である金は、昨秋の史上最高値更新後、海外投機筋の利食い売りに下落基調に転じたものの、欧州を中心とした世界的な金融不安等は依然払拭されず、引き続き金投資への根強い人気もあり、当初は当社営業収益も前年度並と予想しておりましたが、第１四半期では新たな材料に乏しく、値動きも調整商い状態が続きました。第２四半期に入ると回復基調に転じましたが、第２四半期累計期間では第１四半期分の出遅れを補うことが出来ず、金先物市場の売買高は大幅に低下する結果となりました。
以上の理由により、当第２四半期累計期間における当社の商品先物取引売買高は352千枚にとどまり、前年同期比で39.2%の減少となりました。
この結果、当第２四半期累計期間における営業収益は2,792百万円(前回予想比42.2%減)、営業損失は613百万円（前回予想1,530百万円の利益）、経常損失は530百万円（前回予想1,635百万円の利益）、当四半期純損失は369百万円（前回予想1,003百万円の利益）となる見込みです。
なお、通期の業績予想に関しましては、為替動向や景気の不安定さなど不確定要素が懸念されるものの、９月の米連邦準備制度理事会（FRB）の量的金融緩和第３弾（QE3）の発表後、金価格が大幅に上昇に転じ、再度史上最高値更新に期待が持てる状況にあり、当社業績も９月以降は大幅な改善をみせております。さらに、今後も世界的に慢性化する金融・通貨不安等により、実物資産の代表格である金（ゴールド）への関心が高まり、金相場上昇への後押しも期待でき、投資環境は依然良好な状況が続くものと予測されます。
以上の理由から、当社の通期業績予想につきましては、平成24年５月11日発表の予想を変更せず、据え置くことといたします。なお、平成24年５月11日発表の当社通期業績予想は、営業収益9,810百万円、営業利益3,210百万円、経常利益3,420百万円、当期純利益2,098百万円となっております。

（注）上記の業績予想につきましては、発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しており、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上